



『新しい公共』大集合 中部ブロック活動報告会

「地域資源を生かした限界集落からの脱却」

静岡県島田市川根町笹間上 森づくりS川根・NPO

地域資源を生かした農山村の活性化。波及効果の仕組みづくり。
～地域の魅力アップ・交流人口の増加・就労の場の確保～

地域の課題

地域の魅力・情報を伝える 田舎暮らしの社会実験
地域の体験活動拠点 旧笹間小・中学校の利用、運営、体験内容の検討
食メニューの掘り起こし、提供
受け皿組織の充実。人的資源の活用 体験プログラムの作成
広域的連携強化による点から線、面への展開

昨年度までの活動の効果と課題の解決

小学校を利用した体験・宿泊施設「山村都市交流センターささま」の整備
管理運営の受け皿として「企業組合 くれぱ」の設置
交流センターでの活動の波及効果を広め、高める

雇用の場

地域資源を生かした体験メニュー

地域の食材を生かした食事の提供

イベントの開催

今年度の新たな取り組み

体験プログラムの内容の充実と商品化

周辺施設との連携活動強化、機能分担

情報の発信 ホームページ ブログ483日連日発信

旧笹間中学校の利用検討委員会の設置

間伐材利用の関連施設の整備

インターナショナル セラミック フェスティバル イン ささまの開催

▪ 地域資源を生かした各種の体験等

5月、連休の頃から一番茶が始まる。

川根茶の産地である笹間地区でも、1年で一番元気がでる季節である。

地域のほとんどの人が、お茶に関わりを持っており、お客様を迎える体制が不十分になりがちである。一方、新茶の時期に訪ねてみたいという人は多くどう対応していくかしていくかが今後の課題である。



「新たな公」モデル事業実施依頼、ソフト・ハードの受け入れ態勢の整備等に住民の自主的な活動が積極的に行なわれるようになり、また体験メニューも積極的実施、参加してくれる人が多くなった。



地域の活性化を図ることが、交流センターの目的のひとつであり、「訪れる人も、地元の人もよかった」と言えるような取り組みを進めている。特に地元への波及効果をいかに高めるか広げるかを課題としてとらえ、その仕組みづくり等に取り組んでいる。

- ・雇用の場

- ・食事の提供

資格を持つ地域内のグループ等に斡旋し、出来るだけ地域の食材を使った食事の提供を依頼している。



・各種体験の実施

「竹めしづくり」や地元の暮らしや行事等もユニーク体験ができるよう地域ぐるみで取り組んでいる。



交流センターを利用される方々は多様である。7月、8月は小学生・高校生に多く利用していただいている。スポーツ少年団や文化合宿、ボーイスカウト、高校の合宿等である。

交流センターの施設だけでなく、地域全体を活動の場としてとらえて楽しんでいただいている。



隣接するキャンプ場やグランドゴルフ場、笹間川や石上城祉、コウモリの洞窟等も喜ばれている。

また、地域ぐるみのイベントも行われるようになり、夏は若い人達を中心に「夏まつり」が実施され、11月には地域ぐるみで「笹間ふるさとまつり」が行なわれている。

